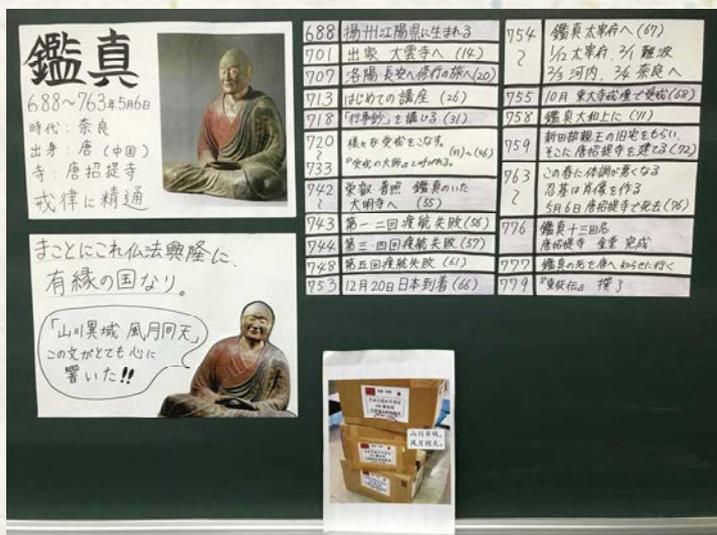


小学生のころから関心があった鑑真の生涯について発表しました

一歴史達人入試では、どのようなテーマでどのような成果を発表しましたか。

奈良時代に唐から来日した僧鑑真をテーマに研究成果を発表しました。私はオンラインではなく、大学において対面で発表をしました。パソコンが苦手な方でしたので、手書きで資料や年表を作成し、それを大きな複数のパネルにして黒板に掲示しながら口頭で発表をおこないました。



田中さんが作成した年表、資料など

一研究テーマにたどりついたきっかけは何ですか。

小学校のころ、教科書に鑑真の木像の写真が掲載されているのを目見て惹かれ、それ以来、唐招提寺へ行ったりなどして鑑真のことを調べ、さまざまな知識を積み重ねてきましたので、鑑真をテーマにするしかないと思いました。

一研究成果をまとめるまでに、とくに心がけたことや苦心したことは何ですか。

今回の研究成果をまとめるまでに、ある程度の知識はありましたが、安藤更生『人物叢書 鑑真』（吉川弘文館）といった本格的な参考図書が高校の図書館な

どになく、それにたどりつくことに苦労しました。また、鑑真は唐の僧ですので、中国語の文献にもあたらなければならないと思いましたが、なかなか読み込むまでには至りませんでした。

一大学では、どのような研究をしようと考えていますか。

小学校のころから惹かれつづけている鑑真の研究をしたいと考えています。ですので、日本古代史のゼミに入って、より専門的に学んでいきたいと思っています。

一先輩として受験生へアドバイスをお願いします。

口頭で発表するとき、あまり緊張しないよう落ち着いてできることが大事だと思います。また、テーマは自分が好きな内容を見つけ、楽しみながら調べることができるようにするのがよいと思います。



はるな
田中陽菜さん 大阪・英真学園高校